

堆積

森菜々子

石と石がぶつかり合う音

擦れて擦れて削れてく

細く鋭く輝きを増す

目に届くまぶしい光に

思わず目が眩んでしまった

蝉の声が聞こえてすぐに

私は空を眺めてみた

天を彩る鮮やかな青を

久しぶりに見れた気がした

早い音楽に急かされ

叫びながら稽古場を走った

鳥の声が耳から体に入って

深く呼吸して泣きそうになった

またねと呟いたあの日々に

私の言葉は届くかな

あそこで生きた人々は

もうあの場にはいないけど

忘れたなんて言わせない

もう掴めないあの日々に

私たちは生きていた